



新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に向けて

現在、新型コロナウイルス感染症について、全国的に、新規感染者数は高止まりの状況にあり、熊本県においても、同様の状況が見られます。

県内の学校においても、引き続き感染増加に予断を許さない状況であり、運動会等の学校行事も多い時期であることから、学校での感染防止を再確認させていただきます。

学校においては以下のように感染対策を万全にして教育活動を行っていますが、各ご家庭においても運動会を控えていますので、感染対策について引き続きご協力をよろしくお願ひします。

授業・給食等における工夫・対策

- マスク着用や健康観察を丁寧に行い、座席間の距離を離しています。
- 給食は、黙食で全員前を向いて食べます。
- 感染症対策を講じてもなお感染リスクの高い学習活動（児童同士が近距離で活動する調理実習、児童が密集する運動、近距離で一斉に大きな声で話す動等）については、学習を入れ替えてするなど、工夫しています。
- 毎日、学校内を消毒しています。



家庭との連携・協力

- 発熱、風邪症状、倦怠感、息苦しさ、味覚・臭覚障がい等の症状がある場合等には、症状がなくなるまで登校せず、自宅で休養をお願いします。
- 県基準（県リスクレベルがレベル2以上）により、同居の家族に未診断の発熱等の風邪症状がみられる場合も登校せずに自宅等で待機するようにお願いします。※現在の県のリスクレベルは、2です。
- 登校前の検温やその記録についても、引き続きご協力をお願いします。
- 三密を避けた過ごし方に加え、マスクの着用を原則お願いします。

(参考)

- ・マスクの素材等によってマスクの効果には違いが生まれます。一般的なマスクでは、不織布マスクが最も高い効果を持ち、次に布マスク、その次にウレタンの順に効果があるとされており、**不織布マスクが推奨されています。**



※不織布マスクの着用にご協力をよろしくお願ひします。